

(様式3)

令和6年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	小俣児童館・小俣放課後児童クラブ	所在地	伊勢市小俣町元町662-1
指定管理者名	社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
設置目的	児童館事業：児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し情操を豊かにするため 放課後児童クラブ事業：就労等により昼間保護者が家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えてその健全な育成を図るため		
業務内容	・職員の雇用に関すること ・伊勢市小俣児童館の事業に関すること ・伊勢市小俣放課後児童クラブの事業に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること(清掃業務、警備業務、施設等修繕業務 等) ・伊勢市小俣放課後児童クラブ第2及び第3の業務委託を別途受託できること ・その他業務に関すること(危機管理及び個人情報保護、守秘義務、情報公開 等)		
施設概要	平成3年4月完成 敷地面積419㎡、建築面積157.74㎡、延べ床面積257.72㎡ 鉄筋コンクリート造2階建 定員70名		
職員体制	館長 兼 放課後児童支援員 1名 児童の遊びを指導する者 兼 放課後児童支援員 18名 補助員 19名		
施設所管課名	子育て応援課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	比較(C-B)	
事業収支	収入	指定管理料	22,119,700	20,885,377	19,980,350	△ 905,027
		利用料金	3,874,100	4,202,300	4,164,050	△ 38,250
		その他	1,985,576	466,246	662,660	196,414
		計(a)	27,979,376	25,553,923	24,807,060	△ 746,863
	支出	人件費	15,745,433	12,890,787	24,179,492	11,288,705
		管理運営費	5,875,634	5,542,708	7,134,307	1,591,599
		その他	1,068,210	6,949,042	333,036	△ 6,616,006
		計(b)	22,689,277	25,382,537	31,646,835	6,264,298
収支差引額(a)-(b)		5,290,099	171,386	△ 6,839,775	△ 7,011,161	

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	指定管理料(障がい加配)の職員配置の見直し等により収入減となった。 職員配置の見直し等により、人件費増となった。
----------------------------------	---

3 評価（様式4に基づく総合評価）

指定管理者	市
事業計画書に従った管理を行った。 『こどもの居場所』として機能するため、児童館として、各種教室やイベントを企画した。令和6年度は、5年度に新型コロナウイルス感染症も5類となったことで影響もほぼなくなり、こども達の生活も通常通り過ごすことができた1年であった。各種教室も予定通り開催でき、誰もが利用しやすい施設づくりの運営に努めた。台風の到来により児童館食堂が中止になるなど、利用者の減も危惧されたが、前年比33人減（年間）に収まりほぼ昨年通りの利用者数となった。 いつも遊びに来ている児童が、「児童館がいつも開いているからうれしい。」と声を発するように、地域に根差した児童館運営に対する声で、児童館が常に「こどもたちの居場所」となっていたことを感じ、非常に嬉しく思った次第である。 児童館の行事としては、毎月の各種教室、おはなし会、ドッジボール大会等を通常通り開催し、満足度向上のため前向きに取り組んだ。 『おばた児童館まつり』は、5年度とほぼ同数の815人の参加者があり、幼児から大人の方までゲームや魚すくいなどの体験コーナーや、チケット制による模擬店、障がい者就労支援事業所の特設コーナーなどを通して、「まつり」を楽しんでいた。チケット発売開始前から児童館に問い合わせがあることから分かるように、例年同様、こども達や保護者からの期待度を感じた。また同日に、防災体験として三重県から『地震体験車』を派遣していただき、震度6を体験し地震の怖さを改めて知り得る体験となった。『防災を考える機会』となることを期待したい。 『ハロウィンイベント』も近隣住民のお宅を一軒一軒回って、コロナ前のようなイベントが開催できた。小俣小学校の体育館をスタートして、地域の皆さんのご協力の下、まるで絵本から飛び出したかのようなプリンセスや、可愛いゴースト等の仮装衣装を着た大勢のこども達が児童館周辺を歩き回った。参加児童、保護者、地域住民、ボランティアの笑顔溢れるイベントであった。 児童館まつり、ハロウィンとも明野高校生徒をはじめ、皇學館大学学生の皆さん、民生委員・児童委員の皆さん、地域や企業、保護者ボランティアの皆さんのご協力の下で開催することができた。 ボランティアによる『陶芸教室』は、地域の高齢の方達の指導の下で作品を制作し交流することができた。ボランティアによる茶道教室は、お茶の点て方や礼儀作法等を学ぶことができた。	施設の管理については適正に行われていた。 陶芸・工作などの教室活動をはじめ、各種大会、世代間交流、野外活動等、行事を創意工夫し、乳幼児から高校生まで幅広い世代の子供達が楽しめるイベントを催し、利用者や保護者から好評を得ていることは評価できる。 また、満足度調査からみえてくる各種行事に対する利用者のニーズにも応えるべく事業を行い、伝統的な行事も大切にしながら、地域と一体となって取り組みを行い、さらに新しい行事も積極的に展開し、地域・大学生ボランティアと連携して事業を成功させていることは大きく評価できる。特に児童館食堂はとても好評であり、年間通しての利用児童数の増加にも寄与していると考えられる。 「児童館まつり」・「地震体験車」・「ハロウィンイベント」などの行事や児童館食堂やボランティアによる陶芸教室や茶道教室など、事業を成功させていることは大きく評価できる。 安全管理についての意識も高く、児童の入退出がわかるシステムにより保護者も児童も安心して過ごすことができている。引き続き防災・防犯に備えた訓練や安全管理の徹底に努められたい。また、市へのホウ・レン・ソウも逐一あり、現場の意向をすぐに把握できる体制にあることは評価したい。 今後も様々な取り組みを継続していただき、利用者のニーズに沿ったサービスが提供できるよう期待したい。

夏恒例の『きもだめし大会』も皇學館大学学生の皆さんのご協力により開催することができた。4部制にし、混雑を緩和したが希望者が多く、夜の児童館で「おもしろかった！」と笑い声や「こわかった」と大泣きする幼児の声など、大勢のこども達、または親子で楽しんでいただいた。

星空観察会を9月が天候不順の為、11月の夜間に延期して開催した。小学校校庭にて天体望遠鏡で、土星の輪、木星の模様、月のクレーター等を観察した。秋は空気が澄み、魅惑的な夜空を親子で魅了されていた。

みえこどもの城の移動児童館によるカプラ遊びを1回、工作教室を3回開催し、楽しい工作などに熱心に取り組む子ども達であった。

こども達の孤食化防止、居場所づくりを目的に、地元企業のぎゅーとら様、民生委員・児童委員、明野高校生ボランティア、地域住民ボランティア等のご協力の下で開催した『おばた児童館食堂』は、毎月美味しいカレーライスを無料で提供した。こどもだけでなく、保護者や家族、地域の高齢者も利用して「こどもやないけどええんかな」と言いながらお越しいただき大変喜ばれた。カレーライスを食べた後、こども達は明野高校生のお兄さんお姉さんに遊んでいただき、とても喜んでいた。

皇學館大学よさこい部ボランティアのご指導の下で、活動している『小俣児童館クラブ★よさこい教室』は、8月開催の『おばたまつり』から出演依頼を受けて出演し、見事な演舞で見る方を魅了した。保護者だけでなく、主催者、鑑賞された皆さんにも大変喜ばれ、『地域の児童館』の存在をアピールすることができた。

幼児親子から小学生を対象にした『リトミック教室』や『キッズダンス教室』を開催し親子ともに楽しんでいただけた。特に、キッズダンスは、こども達から事前に『リクエスト』を聞き、流行っている曲を取り入れたところ、こども達は瞬時にダンスを覚え完璧に踊り大盛り上がりであった。

毎月1回夕方に開催している『中高生タイム』は高校生の利用はないものの、中学生が遊びや勉強をしに来館し、中学生の居場所となってきた。同日昼に開催の『おばた児童館食堂』で作ったカレーライスを、中高生タイム中に食し「児童館のカレーはうまい！」と喜んで、おかわりをする姿は頼もしい。

放課後児童クラブとして、毎月の誕生会、12月実施のクリスマス会、3月実施のお別れ会等は、参加したクラブ利用児童、保護者共に喜んでいただいた。

毎月開催している、ボランティアの先生協力によるクラブ習字教室や、毎月2回開催のクラブ塾において、こども達のやる気を育てていくことを念頭に置きながら実施した。

働く保護者の負担軽減を考え、夏休み・冬休み・春休みに『らくらくランチサービス』と称し、クラブ利用の希望者にワンコイン500円で日替わり弁当を提供して、保護者、児童共に大変喜ばれた。特に保護者からは、「忙しい時に弁当を作らなくても良いので助かります」との声をいただいた。

平日に児童クラブへ来館したときに『ただいまメール』を、出席児童の保護者や家族に毎回発信している。こども達が事件に巻き込まれたニュースが連日放送されているため「メールが届いて、こどもが児童クラブに到着したことが確実にわかるため安心できる」と保護者から好評を得ている。

外部の習い事へ行く時にも『ただいまメール』を発信している。クラブ利用児童が習い事へ行ったことや無事帰ってきたことが、メールを通じて保護者にわかる仕組みとなっている。

年間を通し、身の安全を守る対処の方法、防災、防犯の意識を向上させるため、児童館、放課後児童クラブともに災害や防犯に備えた避難訓練を月1回実施した。不審者対策で、どの職員でも確実に扱える防犯設備の導入を、児童館、第2、第3の3カ所で実施している。

職員の資質の向上のため、研修会に業務として参加した。個人でも積極的に自己研鑽に励んだ。

今後も児童、保護者、地域のニーズに沿った事業等を開催していきたい。

指定管理業務の項目別評価表

		施設名		小俣児童館・小俣放課後児童クラブ	
評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目		判定	評価理由	判定	評価理由
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	施設の目的や基本方針を理解し管理を行った。	A	施設の目的や基本方針については事業計画書にも記載があり、日々の業務にも理解の程が見受けられた。
	②施設設置目的の達成度	A	児童に健全な遊びを与え、健康を増進し情操を豊かにする施設として、円滑な運営を行った。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成できたと思われる。
	③利用者数	A	「おばた児童館食堂」や「おばた児童館まつり」「ハロウィンイベント」、各種教室等数々のイベントを企画運営し、「こどもの居場所」として機能するため尽力した。コロナ禍も落ち着いた結果、利用者数は令和5年度とほぼ同数で児童館は5,060人、児童クラブは12,468人となった。利用者数の微減は、児童館においては、8月に「児童館食堂」が台風到来により中止となったこと、児童クラブにおいては、保護者の利用方法にも工夫があったという点で、目標は達成できたと考える。	A	イベント等を通じて利用者の確保に努め、十分な受け入れを行っている。
	④運営状況	A	令和5年度の児童館開館日数は、児童館工事のため20日ほど閉館したため、274日であったが、令和6年度は294日開館することができた。児童館開館時間は11時～18時。児童クラブ開館日は293日であり、就労している保護者に寄り添い、4月1日から土曜日や学校の長期休業日においても開館し長時間保育を行った。放課後児童クラブ開館時間は放課後～18時。土曜、長期休業日8時～18時まで開館した。	A	法令等に定められている時間どおり運営された。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	事務分担票を設定し、適正な配置・勤務を行った。	A	現場責任者・業務担当者の届出があり、勤務体制は明確になっていた。
	⑥意思疎通	A	随時子育て応援課と連絡を取り、連絡調整を行った。また、月報および配布物等を市へ提出し、業務全体が把握できるよう対応した。	A	報告・連絡・相談等、速やかに連絡を行い、意思疎通を図っていた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	毎日の業務日誌、報告書に各種記録を記入し、決裁後保管を適正に行った。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされている。
	⑧地域の振興	A	「こどもの居場所」として機能するため、「おばた児童館食堂」や「おばた児童館まつり」「ハロウィンイベント」、各種教室等数々のイベントを企画した。「地域の中の児童館」「地域の中の放課後児童クラブ」という意味合いから、地域の住民の方々、民生委員・児童委員、明野高校、皇學館大学の学生の皆さんと各行事ごとに連携し、ご協力の下、行事を開催できた。「児童館まつり」は、皇學館大学の学生ボランティアが、「ハロウィンイベント」では明野高校の学生ボランティアが活躍してくれた。「ハロウィン」では近隣の方々のお宅を子ども達が、一軒一軒回らせていただいた。「児童館食堂」へは、小俣小学校5年生と水土里プロジェクト様が共同で育てたお米を提供いただいた。(株)ぎゅーとら様からはカレーライス食材の提供をいただき、非常に助かっている。地域住民、民生委員・児童委員、明野高校、皇學館大学、地元企業、様々なボランティアの方々にご協力いただきながら、数々の行事を開催できたことは、良好な関係が築かれているからだと思われる。	A	地域ボランティアや大学生、地域住民との交流や地元企業との連携を積極的に図り、また今年度より開催した児童館食堂についても好評であり、地域の振興を図れていた。

指定管理業務の項目別評価表

		施設名				小俣児童館・小俣放課後児童クラブ			
評価項目			評価						
			指定管理者		市				
業務運営項目		評価の基準		判定	評価理由		判定	評価理由	
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。		A	使用許可等申請は適切に行った。		A	使用許可書等申請の取扱は適正に行われていた。	
	⑩利用料金等の徴取状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。		A	代金回収サービスを活用し、利用者に負担のかからない方法で行えた。医療費受給者資格がある保護者には減免をおこない、帳簿を作成し適正に行うことができた。		A	帳簿は適正に作成され、整理も行われていた。	
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。		A	パソコン等の保管方法や名簿等の個人情報の取扱いは慎重に行うため施錠できる引き出しへ保管した。また、ブログ等に写真を掲載する際にも注意書きをし、配慮している。		A	個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、情報流出防止に努めている。	
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。		A	地方自治法、児童福祉法や児童館ガイドライン等各種法令を理解し、遵守した。		A	法令違反は見受けられなかった。	

指定管理業務の項目別評価表

施設名			小俣児童館・小俣放課後児童クラブ				
評価項目			評価				
			指定管理者		市		
業務運営項目		評価の基準		判定	評価理由		
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	利用者数の増加や利便性を高めるための具体的な取り組みが行なわれていたか。	A	『児童館まつり』『ハロウィンイベント』『きもだめし大会』等のイベントを環境を整えた上で開催したことにより、利用者がほぼ前年度と同数維持につながったと考える。『児童館食堂』も、台風10号接近のための中止を除く毎月11回開催できた。こども達や地域の方々に喜んでいただきたいとの思いから、イベントを前向きに、また、工夫を重ね開催し続ける努力を継続した。		A	季節にちなんだ取り組みや新しいイベントの取り組みについて、施設周辺地域にも協力を仰ぎながら地域住民にも周知に努め、利用者の増加につながった。
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行なったか。	B	サービスの水準を確保するため、業務日誌や連絡ノートでの情報の共有を図ったり、月1回のミーティング等や随時職員間で話し合ったり、研修に参加したり、適切な対応ができるよう努めた。新規職員も多数あり、できる限り常勤職員と非常勤職員との対応に差が生じないように、情報の共有に努め、利用者に一定のサービスの水準を確保するよう努力した。		A	サービス水準については、常に利用者目線に立ち、さまざまな企画を上げ、実施した。
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行なったか。	A	児童館だよりや児童クラブだよりを始め、マメールでの情報提供、チラシやホームページを利用した情報提供を行った。また、放課後児童クラブ役員には、情報をいち早く提供し、相談しながら児童の育成に努めた。令和6年度より、伊勢市社協が運営する児童館3館合同で幼児向け広報誌『ひよこだより』を発行して、保護者に喜ばれた。		A	掲示物やチラシなどの作成の際、見易さ・分かりやすさも視点に入れ、効果的な情報提供をしている。
	④非常時・緊急時の対応	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	A	社協職員用の緊急時のマニュアルを常備し緊急時に備えるようにし、児童には火災、地震、防犯等毎月テーマを決めた避難訓練を毎月実施して意識付けを行った。		A	毎月テーマを決めて訓練を実施し、緊急時の確認をとっている。
	⑤苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	利用者からの意見、苦情に対しては、迅速かつ丁寧な対応を心がけている。事故に関しては、『児童安全共済』『児童クラブ共済』を利用し、丁寧に説明し対応している。また、再発防止策や予防策を立て、安全確保に努めている。その結果児童館、児童クラブ共に0件であった。		A	適切な対応がとれる体制ができています。
	⑥自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	毎年満足度調査を実施し、利用者のニーズの把握に心がけた。『児童館まつり』『ハロウィンイベント』『きもだめし大会』等イベントを開催したが、予想を上回る参加希望者があり、ニーズに即した事業のいくつかが開催できたと考える。『児童館食堂』は、子どもたちの孤食化防止等、地域の居場所を目標に開催した。各種事業において、地元企業、地域の高校、大学や民生委員・児童委員、ボランティア等のご協力の下開催できた事業であり、『地域の中での児童館』を改めて感じることができた。『児童館食堂』と同日に行っている『中高生タイム』も中学生がふら～っと来たり、勉強道具を持参して来たりする居場所となりつつある。災害対策では『地震体験車』を三重県から派遣していただき、震度6を体験した。防災を考える機会になってくれることを期待したい。放課後児童クラブの事業として『習字教室』や『クラブ塾』、働く保護者の負担軽減を考え『らくらくランチサービス』の、宅配弁当は大変好評である。安全を考えた『ただいまメール』も実施している。できる限りニーズに即した事業を心がけた。今後も利用者のニーズに耳を傾け事業を展開していきたい。		A	満足度調査により把握したニーズに基づき事業を計画・実施しており、利用者にも好評であった。また、安全確保や保護者の負担を軽減するサービスを実施し、満足度を向上させている。
	⑦事業の評価	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	児童館まつりや各行事においては、事前ミーティング、反省会等、打ち合わせや確認見直し等も行っている。また、他の事業についても、事業報告書等を作成し次年度へつなげている。		A	指定管理者側での確認、見直しが行われている。また、反省点等はすぐに確認し、改善を行っている。

指定管理業務の項目別評価表

		施設名		小俣児童館・小俣放課後児童クラブ			
評価項目			評価				
			指定管理者		市		
業務運営項目		評価の基準		判定	評価理由	判定	評価理由
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	建物・設備・植栽等が適切に管理され、安全性の確保、良好な機能及び美観の保持がされていたか。		A	安全チェックシートを用いて、毎月点検し、異常が発生した場合は速やかに対応した。また、月報や日誌にも記録している。	A	定期的な点検、確認が行われており、記録もなされている。
	②備品等の管理	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。		A	備品について丁寧な扱いを心がけ、破損、紛失等がなかった。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。
	③修繕業務	点検のよって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。		A	異常があった場合は、速やかに対応を行ない、月報や日誌に記録をとった。また、速やかに伊勢市に報告を行った。	A	応急処置は適正であり、伊勢市への報告も迅速であった。
	④清掃業務	清掃は適切に行なわれていたか。		A	児童や職員ともに毎日掃除を行っている。その他、年末の大掃除に加え、季節ごとに職員が掃除や除草を行った。	A	予定通りの清掃を行った。利用者からの苦情もなかった。
	⑤防犯体制	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。		A	鍵は事務室に一括保管し管理している。館内にはセコムによる緊急通報装置を設置。委託期間中に防犯に関する問題はなかった。不審者対策で、力の弱い職員でも扱える防犯設備の導入を、児童館、第2、第3の3カ所で実施している。	A	鍵の管理や不審者対策は適正に行われていた。戸締り等、防犯に関するトラブルも発生しなかった。